



九条の会事務局 小森陽一さん講演会

「この国はどこへ行くのか — 憲法9条を壊してはならない」

7月26日(土) 午後2時開会(午後1時開場)

大阪大学会館にて(大阪大学豊中キャンパス内)

資料代: 500円(学生、介護者は無料)

主催: 小森陽一講演会実行委員会(豊中および北摂の九条の会ネットワーク)

戦争できる国に向けた動きと、対抗する国民の運動を学び、この国のゆくえについて、一緒に考えましょう。

みなさまのご参加をお待ちしています!

***** 大阪弁ト〜ク *****

「前に聞きましたな、集団的自衛権ゆうのは自分の国が攻撃されてのうても同盟国が攻撃されてたら一緒に戦ういうことや、アメリカが戦争してたら一緒に戦争するとゆうことやて」

「そうです。たとえばイラク戦争、アメリカはフセイン政権のイラクに宣戦布告して、イ戦争になりました、そして泥沼につっこんだ。日本は米軍と一緒に戦争することはなかった。もし当時、集団的自衛権行使を認めていたら即参戦!」

「そしてぐちゃぐちゃになり、米軍と一緒に戦こうたいいうことでテロの標的になったでしょうな。集団的自衛権行使認めてなくてよかった・・・」

「今度、認めたら、アメリカと一緒にたたかわなあかん。アメリカはもう世界の警察官を務める力はない。だから日本を引っ張り込みたい」

「日本人を守るためなんて嘘ですな」

「自国民が攻撃されているときに自国民を守るのは当たり前の自衛行為です(武力行使で守るかどうかは別の問題)。集団的自衛権とは関係ない話。わざとごちゃごちゃにしてる。」

「日本がこれまでアメリカの戦争に対して結構協力はしてきたけど、武力行使だけは憲法9条で禁じられているからと断ってきた。それがこれからはイエスと言わざるを得なくなる。こうしてアメリカと一緒に世界中で戦うことになる」

「集団安全保障の面でも武力行使できるようにしようというのも出てきましたなあ」

「今までも日本は国連のPKOに参加してきたけど、それは武力行使をしないという大前提があったんです。それを変えて武力行使できることにする、国連決議で制裁を発動することになると日本も武力で参加する」

「つまり、どんな戦争にも参加できるようにしようということですか。」

「日本は戦争をしない国から戦争をする国に変えられようとしている、日本国憲法は壊されようとしている。国の形が変えられようとしている、国民に断りもなしに。」

「こんな暴走を絶対許したらあきまへんで。国家の主人公は国民や、政府は国民の声を聴け!」

「ご一緒に『この国はどこへ行くのか—憲法9条を壊してはならない—』

小森陽一さんの講演会に行きましょ!」

こんなときこそ、おちついて、おちついて。
コーヒーでも飲みながら作戦なりましょ(べー)



豊中市議会に意見書提出の請願を行いました！

集団的自衛権行使容認の閣議決定がされた7月1日、豊中で活動する九条の会のネットワークが中心となり、豊中市議会へ下記の意見書提出の要請(請願)を行いました。今後、市議会でどのように審議されるか、注目したいと思います。(全国ではすでに約200の市町村議会から同様の意見書が提出されています)

立憲主義に反する集団的自衛権の行使容認について慎重審議を求める意見書提出に関する請願

1 要旨

今、安倍内閣が、「閣議決定」で集団的自衛権行使容認を決めました。これまで政府は、集団的自衛権行使は、憲法上許されないとしてきました。これを変えるものであり、特に国民的論議が必要です。そこで国会や国民の中で慎重、丁寧な審議が求められ、その旨の豊中市議会での意見書を各関係者に提出を求める請願です。

2 理由

私達は「憲法9条を守る」という一点で連携して市民活動しているグループです。今回の集団的自衛権行使容認の動きには強い危機感を感じています。日本は戦争で人を殺さない国として69年間国際社会で認められてきました。それを戦争のできる国にしようということは国の形を変えることです。このような大事なことを十分な話し合いも行わず、国民の意見も聞くことなく、進めようとするのは許されないことです。国の将来に重大な禍根を残すことです。

どうか、豊中市議会として集団的自衛権の行使容認については慎重な審議をもとめる意見書(案文別紙)を提出して下さい。緊急に要請いたします。

2014年7月1日 豊中市議会 議長 平田 明善 様

おひさま九条の会 「変えたらアカン! 平和憲法」実行委員会 北大阪総合法律事務所九条の会 九条の会・豊中
九条の会・豊中いちばん星 九条の会・みどり(豊中) きらら九条の会 憲法問題を考える市民勉強会
豊中駅前ナインの会 豊中教職員・九条の会 豊中・憲法9条を語る会 豊中市役所OB九条の会
豊中退職教職員九条の会 阪大・九条の会 阪大・OB九条の会 ほくせつ医療生協九条の会

立憲主義に反する集団的自衛権の行使容認について慎重審議を求める意見書(案)

これまで日本国政府は、憲法第9条のもとにおいて許されている自衛権の行使は、我が国を防衛するため必要最小限度の範囲に留まるべきものであり、集団的自衛権を行使することは、その範囲を超えるものであるため、憲法上許されないとしてきた。

これに対し安倍首相は、私的諮問機関「安全保障の法的基盤の再構築に関する懇談会」の報告書に基づいて集団的自衛権の行使容認を行う方針を示した。その方針を実現するべく、憲法解釈の変更と、それに伴い改正すべき法制の基本的方向について閣議決定を行った。そうして準備ができ次第、必要な法案を国会に諮ると表明している。

そもそも憲法は、国民の自由や権利を守るために国家権力を制限するものである。この立憲主義に基づいて国政が行われている以上、憲法を変えるときは正規の手続きにより、主権者である国民の意思のもとに行われるべきである。定着している憲法解釈を変えることについても、一内閣が国民の意思と関係なく行うことは許されず、これを強行することは立憲主義に反するものであり、安易な解釈変更は、憲法の形骸化を招くものと考えられる。

よって、国会及び政府におかれては、憲法解釈の変更による集団的自衛権の行使容認について国民的議論を踏まえ慎重に審議されるよう当市議会は強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

豊中市議会

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣
総務大臣 外務大臣 防衛大臣 あて

松阪市長、閣議決定を提訴！

三重県松阪市の山中光茂市長(38歳)は7月3日、集団的自衛権行使を容認する1日の閣議決定は、国民の平和的生存権を保障する憲法に反するとして、違憲確認を求めて提訴する方針を明らかにしました。

若い市長の行動に拍手
平和都市・豊中も続け！



投稿

学習会報告 「沖縄の今・・・」

講師：梅花教会牧師 後藤聡 さん 6月21日(土) とよなか男女共同参画センター「すてっぷ」にて
主催：「9と25」 平和と基本的人権、社会保障がなによりも大切！

6月23日は沖縄では沖縄戦の「慰霊の日」です。長く沖縄におられた後藤牧師のお話を聞きました

「沖縄は独自の文化を持つ独立国だった。かつては中国の冊封体制の中にあり(家来の国)、1609年からは薩摩の支配も受けるという『日中両属』の形になった。明治政府により強引に沖縄県にされてしまう。戦争時には日本政府は『本土決戦』の時間稼ぎとして沖縄を捨石とした。中国戦線から転戦してきた陸海軍と、沖縄住民からなる戦闘員(沖縄の若者は全て徴兵され本土に送られていたので、子ども、中年以上の男性)、女や老人も総動員された。圧倒的な米軍の砲撃の前に人々は倒され、『生きて虜囚の辱めを受けず』と自死においやられた。こうして戦闘としての沖縄戦は終わったが、沖縄にとっての戦争はこれで終わったのではなかった。

悲惨な戦いの地、人々の血が流された土地、先祖の墳墓の土地は米軍に取り上げられ、広大な基地が作られた。日本の占領終結時にも沖縄は切り離され、そのまま米軍に統治されることになった。沖縄からベトナム戦争に出撃する米軍機が飛び立つ日々の中で、沖縄の人々は憲法9条が適用される日本国に復帰して平和な沖縄を取り戻したいと願って復帰運動を繰り広げた。やっと1972年本土復帰が叶ったけれど、米軍基地はそのまま。沖縄の人々は土地を奪われ、基地に安全を脅かされながら生きている。本土の国民は沖縄に負担を押し付けながら、その痛みを考えない。

今、美しい辺野古の海が埋め立てられ、新たな基地が作られようとしている、沖縄中にオスプレイという恐ろしい戦闘機が配備され空を飛び回っている・・・尖閣の問題も沖縄基地の拡充、強化に結び付けられようとしている。危険な動きのなかに今、沖縄はある。」

お話を聞いていくうちに、沖縄がたどった苦難の道、本土の我々がそれを顧みることなく、経済的繁栄だけを追いかけてきたということを痛いほど感じました。戦争は遠くなったというけれど沖縄ではまだまだ続いているのだということも。しかも、政府は基地問題を解決するどころか、対外危機をあり、日本全体を戦争のできる国、戦争する国にしようとしている。

「いてもたってもいられない気持ちです」「何としてでも戦争のできる国にしようとする動きをとめなければ」40代の参加者の言葉です。同感です！ (熊野 以素)



いちばん☆おすすめ本

『徹底批判！ここがおかしい集団的自衛権—戦争をしない国を守るために』(合同出版)

いちばん星学習会で講師をしてくださった高作正博さん(関西大学法学部教授)が編集されました。

そもそも集団的自衛権とは一体なにか？ 認めるとどんな事態が想定できるのか？ 近隣諸国や国際社会は、こうした日本の動きをどう捉えているのか？

集団的自衛権にまつわる様々な角度からの疑問・質問について、わかりやすくQ&Aで解説されています。

紹介 連続講座「戦争を忘れない」第5回
今、聞かなければならない歴史がある！

「自衛隊の実体・元陸上自衛隊員の証言」

証言者：井筒高雄さん

(元陸上自衛隊・レンジャー隊員。1993年に成立したPKO法に反対。武器を持って海外で任務することは「契約違反」と依願退職を決意。)

8月2日(土) 13:30～ (13:00開場)

会場：ドーンセンター(天満橋)

資料代：800円(学生300円)

主催：ピースおおさかの危機を考える連絡会

TEL 080-3882-0404

数字が語る 戦争協力の恐ろしさ・・・ベトナム戦争に巻き込まれた国々・・・

右はベトナム・ホーチミンの戦争証跡博物館に展示してある資料です。ベトナム戦争時に米軍の援軍として各国が送り込んだ兵士数で、中でも韓国が際立っています。

1964年といえば東京オリンピックの年。もしこの時点で日本に憲法9条がなかったら、あるいは、集団的自衛権が行使され

ていたら、日本も巻き込まれていたでしょう。「日本の国益には関係ない戦争だから派兵しません」と言っても、アメリカから「共産勢力の拡大を食い止める戦いに協力しないのか」と迫られたら、はたして拒否できたでしょうか。一旦戦争に加わると、撤退するのは難しい。ベトナム戦争の終盤では、米軍より韓国軍のほうが多く残り、ジャングルの中で罪のない民衆を虐殺し続けたのです。

21世紀を迎えてもなお、世界中で戦争の火種は絶えません。仮に日本が集団的自衛権の名のもとに5000人の海外派兵をせざるをえなくなった場合、志願者が1000人いるとして、残り4000人はどうやって集めるのでしょうか。

今私たちは、いかなる戦争への加担を求められても「NO!」と言えます。この国は一旦手放したら二度と取り戻せません。真の平和国家への修行は今後の課題ですが、今は何としても、戦争に関わる道を開く集団的自衛権行使容認を止めなければなりません。 NO WAR!! (筒井百合子)

ベトナム戦争（1960年～75年）に派遣された兵士の数（単位：人）

	1964年	1966年	1968年	1970年	1972年	戦死者
南ベトナム軍	514000	735900	820000	968000	104800 0	185528
アメリカ	23310	385300	536000	335790	24000	57702
韓国	200	25570	50000	48540	36790	4407
タイ		240	6000	11570	40	350
オーストラリア	200	4530	7660	6800	130	475
(北・解放戦線軍)						(924000)

(右端の戦死者数は、アメリカ統計機関の数字を加筆)



いちばん星のつばやき

「どうする！公共放送の危機」6.21 関西集会に参加して

NHK 元ディレクター、プロデューサー、弁護士、東大教授の話を聴こうと950人も人が集まりました。

榑井会長に関しては就任時の会見で、その人権感覚のなさ、公共放送の原則すら知らないことが知れ渡りましたが、それだけでなく2人の理事に辞任を迫ったり放送局長を腹心の者に差し替えるなど、会長権限を甚だしく濫用して、NHK 職員からも日々SOSが届いているそうです。安倍さんの政財界のお仲間と百田、長谷川氏などの経営委員に支えられ、辞める気配は一向にありません。こんな会長を私たち国民の公共放送のトップに置いておくわけにはいかない！辞めて貰おうということで

- * 会長罷免を求める署名運動（経営委員会宛葉書と署名用紙を同封しています）
 - * 受信料支払い一時停止（逆に右翼関係者の分が増えたそうです！）
 - * 安倍チャンネル化しているニュース7、ニュースウォッチ9や報道番組をチェックし意見をどんどん届ける。（批判も激励も！）
- などの運動をたくさんの方が始めています。視聴者主権のNHKをめざして皆でがんばりましょう。

集会の最後に96歳の女性が挨拶された言葉が忘れられません。「私はNHKの大本営発表に騙されていました。再び大本営発表のようにならないように願っています。」（上田万里子）

“もうこれしかない”

恐れていた集団的自衛権が閣議で可決されようとしています。私はごまめの歯ざりしりで、NHKに受信料支払い凍結の手続きをいたしました。賛同者の方はぜひこちらまで

<http://form1.fc2.com/form/?id=596482>

(NHKを監視・激励する視聴者コミュニティ)

(浜田悦子)

明るく元気に怒りたい人、いちばん星へ！

九条の会・豊中いちばん星

連絡先 FAX: 06-6849-0251

Eメール: toyonakaichibanboshi@live.jp

〒560-0021 大阪府豊中市本町1-1-1

市民活動情報サロン気付

URL: <http://9jo-ichibanboshijimdo.com/>

☆カンパはこちらへお願いいたします☆
郵便貯金 口座番号：00980-4-116244
加入者名：九条の会・豊中いちばん星